**令和元年度社会福祉法人しいの木会事業計画**

**◆法人事業計画**

令和元年度は、懸案事項であった給水設備について資金面の状況を勘案し、改善計画を作成し、可能な項目については年度内に実施する。

事業については、新規事業はないが、シーモック、グループホームとも利用率の改善を図り、収益が悪化しないように努める。

役員会等は年間計画に従って実施するとともに、法人の事業に対して適切なガバナンスを発揮する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日 | 種別 | 参加者 | 決議事項 |
| 5月下旬 | 理事会 | 理事・監事 | ・評議委員会提出議題（案）の承認 |
| 6月中旬 | 評議員会 | 評議員・役員 | ・平成30年度事業報告および決算の承認・令和元年度事業計画および予算の承認・定款変更・法人資産の担保提供について |
| 理事会 | 理事・監事 | ・理事長選任 |
| 11月下旬 | 理事会評議員会 | 理事・監事評議員 | ・補正予算の承認 |
| 3月下旬 | 理事会評議員会 | 理事監事評議員 | ・補正予算の承認 |

**◆シーモック事業計画**

今年度は販売先について、今一度見直しを行っていくと共に販路拡大を目指していく。また、昨年度に引き続き給水の問題を検討し、実施可能なものは実施すると同時に将来に渡っての計画を作成する。かねてから繰り返し議論されている新しい作業種についても検討し、複数年先まで見通した作業所の整備計画を作成する。

**◆各部署の計画**

1. 就労継続B型（定員40名）

≪シーモック≫

ア）調理室

施設内だけでなく支援学校等からも実習生を受け入れ、利用者の増員を図っていく。菓子の製造数を上げていきたい。

イ）袋室

向上心を育み利用者のステップアップを目指していく。

成分表示を追加したラベルの作成、貼り替えを行う。

ウ）2グループ

作業の中心として行っているクッキー詰めと食品乾燥機を使用してのいちじくの乾燥、シュレッダー作業、外部からの受注作業を継続して行っていく。個々に合った支援をしていく。

≪プチ・シーモック≫

引き続き利用者を増員するため実習を行う。宣伝用の黒板を店舗前に置くなど、知名度アップを図っていく。

新しい作業を提供し、活気ある環境づくりに努めていく。

1. 生活介護（定員7名）

活動内容は、作業（リサイクル活動）、ちぎり絵などの創作活動、散歩、体操、踏み台昇降などの運動を行う。今年度も引き続き、リサイクル活動で得た業者買い上げ金、市の助成金をもとにお楽しみ会を行う。利用者のペースに合わせた内容の1日外出を行う。生活介護ならではの細やかな支援や個別対応を行っていく。

1. 相談支援

今年度も引き続き、サービス等利用計画書の作成、モニタリング（利用者状況の把握・計画の見直し）を行う。一人一人のニーズに対し適切なサービスが受けられるよう、情報提供を行う。

1. 日中一時支援

月に2回、土曜日に余暇活動を行う。（年間計画書による）

その他、日常的な活動と並行して緊急利用の受け入れを行う。

1. グループホーム

グループホームについては、利用率の向上に努め、収益増を図る。併せて、利用者のQOLの向上を目指していくとともに、家族との面談やニーズに配慮し、状況に合わせて個別対応等を行っていく。また外出（外食）の方法なども検討を行う。

今後のホームどんぐりの利用ニーズを把握し、移転計画について検討をすすめ　る。